

市民活動推進助成事業(区政推進基金)寄附者のみなさまへ

みなさまの寄附金で大阪を元気にする 8事業を支援しました!

～平成29年度大阪市市民活動推進助成事業～

このたびは、市民活動推進助成事業(区政推進基金)へご寄附をいただき、ありがとうございました。
みなさまからいただいた寄附金を活用して、平成29年度は8つの事業に対して助成を行いました。
事業を実施した団体より、報告が寄せられましたのでご紹介いたします。
今後も、市民活動の推進のため、みなさまのあたたかいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

みなさまからこんなにたくさんの寄附金をいただきました!

平成28年4月1日～平成29年3月31日		平成29年4月1日～平成30年3月31日	
寄附金額	5,404,368円	寄附金額	5,509,846円
寄附件数	12件	寄附件数	14件

いろいろあります 寄附のしくみ

市民活動のためのクリック募金

事業の趣旨にご賛同いただいた協賛企業等のバナーをクリックすることで、協賛企業からクリック数に応じた金額を大阪市に寄附いただき、大阪市市民活動推進助成事業へ活用するシステムです。

クリックした人に金銭的負担がなく、市民活動を応援することができます! ぜひ一度ご覧下さい。

クリックは【大阪市市民活動総合ポータルサイト】から!
<http://kyodo-portal.city.osaka.jp/click/>

ふるさと寄附金

生まれ育った場所など、一人ひとりが選ぶ場所を「ふるさと」として応援するもので、寄附することにより、その年分の所得税及び翌年度分の個人市・府民税から、支払った寄附金額に応じて一定額を控除する制度であり、「ふるさと」の自治体への貢献の気持ちを表す市民参加のスタイルです。



すきやねん大阪WAON

イオングループの企業が発行する、地域貢献型のご当地WAON(電子マネー)カードの大阪市版です。このカードを利用いただくことで、その利用金額の一部を大阪市に寄附いただき、大阪市市民活動推進助成事業へ活用するしくみです。



支援者のみなさま(社名50音順・敬称略)

株式会社アルファテクノ、イオンリテール株式会社、株式会社SIM、株式会社オカダ電子、
大阪シティ信用金庫、大阪市民共済生活協同組合、大阪信用金庫、大阪府民共済生活協同組合、
株式会社オーリュクス、クーバル株式会社、クジラ株式会社、株式会社光洋、宗教法人真如苑、
センコー株式会社、株式会社Dreams、一般社団法人日本姿勢予防医学協会、株式会社harunohi、
株式会社一二三工業所、株式会社ヒューマンハーバー大阪、株式会社フォーシックス、
株式会社フォーユーカンパニー、富士ゼロックスシステムサービス株式会社、株式会社宮田運輸、
ライフ・カイロプラクティックラボ、リタワークス株式会社

事業名	子ども、とりわけ親と暮らせない子どもの「生きる力」を育てるデザイン教育事業		
団体名	特定非営利活動法人 子どもデザイン教室	助成額	900,000円

～ 助成事業を実施して～

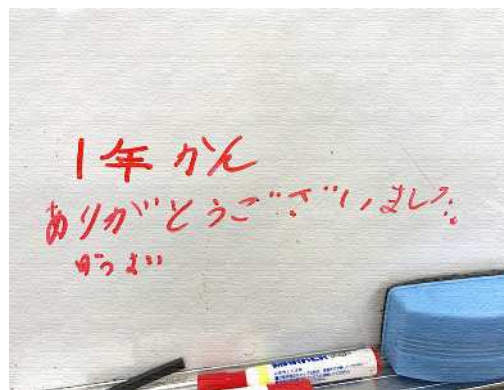
子どもデザイン教室は、1年間を通じたデザイン教育プログラム「遊びながら学ぶレッスン」の提供で、子ども、とりわけ親と暮らせない子どもの自立の支援をしました。レッスンの目的は、子どもの生きる力を育て、自立の支援をすることです。生きる力とは自ら学ぶとする力です。今日より明日をよくしようとする力です。

「どうして生まれてきたんやろ」「なんにもええことあれへん」そんな子どもたちの声を聞いて、私たちは活動を始めました。私たちはこの支援で、自分の将来が設計できる人、「自分デザイナー」を育てようと考えました。私たちは「遊びの中に学びがある」と考えています。子どもたちは、創造力・計画力・対話力を遊び感覚のレッスンを通して、身につけていきます。それが、自己肯定感を高めることにつながります。

レッスンは1年間を通して、テーマを決めて実施しました。パソコンを使って、自分だけのキャラクターをデザインしました。そのデザインを元にして人形、ピンバッジ、アクセサリ、クッキー、キャラ弁も作りしました。

3月24日と25日の2日間、発表会において商品販売会を実施しました。2日間の売上は28万円！発表会は大成功でした。このお金は子どもたちの自立資金などになりました。このことは子どもたちにとって大きな自信になりました。子どもたちは1年のレッスンを通してできる自分に出会えたのです。

2018年度は、お絵かき・立体から商品開発、コミュニケーション能力開発、自立支援に繋がる4つのレッスンと、児童養護施設や児童相談所を訪問する出張お試しレッスンを開催します。販売会のあと、会場のホワイトボードに隅っこに小さなメッセージが書いてありました。「1年間ありがとうございました」このメッセージで胸が熱くなりました。1年間頑張ってきてよかった。心からそう思いました。子どもたちの思いを私たちはしっかりと受け止めました。



事業名	第5回こども防災リーダー養成講座		
団体名	特定非営利活動法人 ハートフレンド	助成額	74,000円

～ 助成事業を実施して～

2017年度は、3つの柱を中心に事業を実施した。

こども防災リーダー養成講座 2017年11月4日(土)・5日(日)

こども防災フォーラムの開催 2018年2月3日(土)

こども防災気づきレシピの発行

毎月1回の防災ジュニアリーダーの定時定点活動を通じて、講座のプログラムや役割分担を決定した。中学生・高校生16名が司会進行とワークショップの講師を務めた。

今回の事業を通じて、こども自身のやる気を向上させること、地域の団体の参加が増えてきたこと、他の区の先駆的な活動を知ることができ交流ができたこと、そして、子ども目線の「わたしたちの防災学習」(気づきのレシピ)を発行できたこと。

以上の成果が得られた。2018年度は、第6回こども防災リーダー養成講座を実施する予定である。さらなる子ども主体の活動になるように努力していきたい。



事業名	居場所と学習支援		
団体名	特定非営利活動法人 あわじ寺子屋	助成額	1,000,000円

～ 助成事業を実施して～

あわじ寺子屋では、毎週月曜日から金曜日まで午後5時から午後9時迄小学生・中学生・高校生を対象に以下の事業を行っています。

居場所事業

学習支援

野菜作りなどの体験学習・子どもの企画応援事業

子どもと保護者への教育・生活相談事業

淡路本町商店街振興組合と連携した「地域食堂」の実施（長期休み中）

そのために、学校・地域・教育団体・行政との連携しています。

昨年度は、延べ7000人の子ども達が来場しました。1日平均30数名です。

多様な様々な子ども達が毎日元気よく来ています。

子ども達の未来に夢を、可能性を広げるために「学習支援」と様々な体験を保障するため「体験学習」に力を入れています。

さらに、不登校の早期発見の取り組みも始めたいと思っています。

事業の性格上、当事者から費用は徴収できません。貴重な寄付を助成金として使用させていただき感謝申し上げます。

日本の未来の可能性に投資するお志で、これからも貴重なご寄付を寄せていただきたくお願い申し上げます。



ぴかぴかの高校1年生！



ある日の学習風景



東淀川警察のミニ防犯訓練

事業名	天神祭ごみゼロ大作戦		
団体名	特定非営利活動法人 大阪府民環境会議	助成額	1,000,000円

～ 助成事業を実施して～

- ・ 事業の紹介 事業実施日 7月24日(宵宮)、25日(本宮)の2日間
場所 大川沿いの南天満公園

ボランティア参加者数835人、参加者の感想はボランティア満足度は約80%が満足。次回も参加意欲は77%となりました。(ごみは分ければ資源の認識が43%の方がもち、来場者の積極的な協力で気持ちよく活動できたとの声が寄せられています。)

補助金は、ボランティア募集のチラシやボランティアTシャツ制作費に使わせていただき、ボランティア参加も予定の800人を上回り、Tシャツは多くの来場者の方に広くアピールすることができ、エコステーションでの活動がスムーズにできました。ごみは捨てないでねというメッセージは多くの来場者に伝わり、気持ちよく分別に参加していただきました。結果、25日の屋台が終了した深夜の公園がとてもきれいな状況で維持できました。このエコステーションの仕組みは、いろんな祭イベント等で参加者の皆さんと一体になれる活動として広められる実感がもてました。

- ・ 今後のスケジュール等

2018年7月24日(宵宮)25日(本宮)は大川沿いの公園一帯で実施します。41か所のエコステーションに1600人のボランティアを募集します。共感の輪が広がれば、日本の三大祭の一つである天神祭の会場が、ごみの散乱しない美しい祭り会場として来場者の方の協力で維持できることを実践していきます。祭りでごみは捨てないでという発信を天神祭ごみゼロ応援オリジナルソングと踊り「天神フェスECOステーション」は、HP上でUPしています。グループで踊りの参加をYouTubeでUPしていただき、「ごみ捨てたらあかん」の応援をよろしくお願いします。そして、ボランティアと同じく寄付も集めていますのであわせてよろしくお願いします。



協賛企業のロゴマークはテントやTシャツでアピール。ご協力ありがとうございました。



来場者に分別を説明するボランティアスタッフ。高校生から幅広い年代で共に。

事業名	障がい者の工賃アップのための食品製造に関する研修事業		
団体名	特定非営利活動法人 トウギャザー	助成額	390,000円

～ 助成事業を実施して～

特定非営利活動法人トウギャザーは障がい者と社会の架け橋として、障がい者の自立と社会参加の支援活動を行っています。主な活動は 啓発活動 販売支援 住環境コーディネート 就労支援です。

< 工賃アップのための研修を実施 > 障害者福祉事業所で働く利用者の工賃は非常に低く、特に大阪府は全国でも低水準にあり、全国平均をかなり下回っています。障がい者が自立するためには「収入が上がること」が何よりも大切です。より多くの工賃を得るために2つの研修を行い、工賃向上を目指しました。

菓子製造の基礎研修 7月29日(土)、11月4日(土)の午後 全2回、学校法人三幸学園辻学園調理・製菓専門学校にて菓子製造における原材料の特質、調理方法など基礎を学び、商品のレシピ改善、製造手順や材料等の見直しを行い、品質の向上を行った

品質表示法に関する研修 9月9日(土)、10月7日(土)の全日 全2回、大阪市内の貸会議室にて
 (株)生活品質科学研究所の高田氏より食品表示法について学ぶ

< さらなる工賃アップを目指す >

食品表示法について初めて学ぶ方、わかったつもりでいた方が多く、基礎からしっかりと学べる研修となりました。菓子製造の基礎研修においても、利用者が一緒に参加し、教授から製造手順やコツについて学んだことにより、今までと比べて仕事に対するモチベーションがあがったという声を頂きました。工賃も研修を受ける前に比べて倍増した事業所が多く、大変有意義な研修ができました。今後はさらなる工賃アップを目指すため、法令遵守をし、販路拡大を行っていきます。

菓子製造の基礎研修



品質表示法に関する研修



事業名	若者の表現・実践の場「おやこカフェ」による世代間交流		
団体名	特定非営利活動法人 子どもセンターあさひ	助成額	165,000円

～助成事業を実施して～

若者の表現・実践の場を生み出し、安心安全な「食」を通して、世代間交流をはかるため、以下の事業を実施しました。

「おやこカフェ」～若者の表現・実践の場「おやこカフェ」による世代間交流～
年間14回 会場：子どもセンター 参加者のべ114名

学習会

- ・「若杉ばあちゃん講演会」 講師：若杉友子氏 2017年7月9日 参加者42名
- ・「ユース向けクッキング教室」 講師：久保田真由美氏 2017年10月15日 参加者6名
- ・「若杉ばあちゃんの料理教室」 講師：若杉友子氏 2018年1月28日 参加者23名
- ・「小学生料理教室サポート実習」 講師：久保田真由美氏 2018年2月25日 参加者11名

ドキュメンタリー映画「いただきます みそをつくるこどもたち」上映会 2017年11月26日
参加者60名

収穫体験<お弁当づくり&いちごの収穫体験> 2018年3月25日 参加者26名・ボランティア4名

今後も、学生ボランティアの定期的な参加が確保できるように、大学等との連携を広げます。全ての世代にとって共通する関心テーマである「安全な食や健康」について学ぶ場や共有する機会を日常的につくり、世代間交流ができる場、若者の表現・実践の場を作っていきます。「おやこカフェ」は、毎月第2土曜日に開催し、午前中は、ミニ学習会・ワークショップ、午後は学生ボランティアさんによるランチの時間です。ぜひ遊びにいらして下さい。

「おやこカフェ」

～参加者感想～

「いつも野菜を食べない子なのに、こんなに食べるなんてビックリ！」

「小さな子どもがいると外食も楽しめないで、体にやさしいランチをゆっくり楽しめてうれしい。」

「家でも作れそうなメニューで参考にしたい。」



「若杉ばあちゃんの講演会・料理教室」



「ユース向けクッキング教室・サポート実習」



上映会「みそをつくるこどもたち」



「お弁当づくり&いちごの収穫体験」



事業名	文化や世代を超えてつながろう！-多文化フォーラム-		
団体名	特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪	助成額	87,000円

～ 助成事業を実施して～

外国にルーツをもつ子どもたちが近年増加し続けています。外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援教室「サタデークラス」は、かつての学習者を迎え大人となった当事者が来日当時を振り返り、これまでを語る場を設定しました。社会人として一步を踏み出したり、今も自分探しを続ける姿をありのままに語ってくれました。かつて応援していた、あるいは現在関心がある人たちと10年を超える応援活動を進めてきた「サタデークラス」のボランティアが中国楽器二胡の演奏を楽しみ、支援を受けた子どもたちが成長していく姿に支援の必要性を確かなものとして感じ取りました。国や地域、言語の違いを超え世代を超えて尊重しあいつながっていく社会作りに今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

・実施日：2017年8月20日日曜日 ・場所：中央区道仁連合会館 ・参加者数：37名

当日のアンケートにおいて(回収率59%)中国出身の当事者による「二胡演奏」、ネパール・ブラジル・フィリピン出身の若者たちの「ライフヒストリーを語る」、ともに関心度・満足度ともに高く今後もこのようなイベントに参加したいという声も多い結果でした。

参加者は「二胡の演奏を聞きたい!」と車いすでの一般参加者、中学・高校・サタデークラス・たぶんかじゅく等で関わっている教育関係者や市民団体での支援者、関心を持つ新聞記者等々で、運営は「サタデークラス」のボランティアグループでした。

外国にルーツをもつ若者たちの社会生活は不安定な場合が多く今後も連絡を取り長期的なサポートが必要だと感じられました。将来、納税者として日本社会の一員となるであろう外国ルーツの子どもたちの学習や生活体験の場をより多く設定しサポートしていきたいと考えています。今後とも引き続き応援をよろしくお願いいたします。

現在、富山県を拠点に二胡演奏者として活躍している張鶴さんが素晴らしい演奏を聞かせてくれました。彼と共に日本語学習を進めたことが「サタデークラス」開設のきっかけとなりました。



コーディネーターの金さんと当事者の若者たちに真摯に、かつ和気あいあいと話を繰り広げていただきました。



事業名	地球温暖化低減行動のための「まちのなかで自然とつながる」セミナー事業		
団体名	特定非営利活動法人 イー・ビーイング	助成額	602,000円

～ 助成事業を実施して～

自然に触れる機会が少ない都市生活の中で、森や自然とつながるセミナー 菜園でかんさつ木をつかおう！ワークショップで構成する全3回のセミナーを開催し、森林が地球温暖化低減について果たす役割や、自然と人とのつながりを学び、楽しく自然と親しむ体験を通じて、自らが積極的に環境保全に関わる意識を持ってもらう。ひいては参加者の日常生活における地球温暖化低減行動につなげることを目指しました。

第1回5月20日（土）参加者26名

森とつながるセミナー...「木を切ることは悪いこと？」
 菜園でかんさつ...「なんの野菜かな？収穫してみよう・植え付けてみよう」
 木をつかおう！ワークショップ...「サクラの木でお箸作り」

第2回7月29日（土）参加者72名

自然とつながるセミナー...「タネのふしぎ、やさいのふしぎ」
 菜園でかんさつ...「夏のやさいの実り方。かんさつしよう、収穫しよう」
 木をつかおう！ワークショップ...「間伐材で作る貯金箱」

第3回11月29日（土）54名

森とつながるセミナー...「木を切ることが森をそだてる」
 菜園でかんさつ...「季節がかわると野菜もかわる。収穫してみよう・植え付けてみよう」
 木をつかおう！ワークショップ...「どうぞのいす作り」

保護者の感想より

・子供たちに自然の大切さを伝えようとスタッフの方々の一生懸命な気持ちがすごく伝わりました。

・木を切ることが良いことだと皆に伝えたい
 ・伝統野菜について知らないことばかりだったので、詳しく説明してくださりありがたかった。
 ・普段できない体験が親子でできてとても貴重でした。

子どもの感想より

・どうぞのいすおはじめてつくたからたのしかったよ。
 ・くぎとかなづちでいっぱいたたいたので楽しかったです
 ・おやさいびっくりした
 ・だいこんがおっきかってよかったです
 ・たのしかったです
 ・いすをつくるのをやるのがむずかしかったけどつくれてうれしかったです。
 ・たのしかったです。
 ・またちがうやつもやりたいです。

参加者に「自然の力」～自然の仕組み、自然の智慧、森林や自然が地球温暖化低減に果たす役割や私たちの暮らしを支える力など～について理解し、体感していただけたと考えます。

30年度もA T Cでのセミナーを実施するとともに、市内の幼児教育施設でのトライアル実施を行い、プログラムとして取り入れていただくことをめざします。

